

エアクッション 金型組立台

ユーザーガイド



meusburger[®]

目次	Page
1. 取扱説明書.....	3
1.1 文書の目的と妥当性	
1.2 安全支持マークについて	
1.2.1 安全靴を着用下さい	
1.2.2 指または手を挟まないよう注意下さい。	
1.2.3 取り外し危険	
2. 一般的な安全上の注意.....	3
2.1 使用目的	
2.2 適切な使用法	
2.3 その他のリスク	
2.4 オペレーターの義務	
2.5 その他の作業者の義務	
2.6 オペレーターの資格	
2.7 安全な服装について	
2.8 安全及び保護装置	
3. 機械の説明.....	4
3.1 機械仕様	
3.2 各部の寸法	
3.3 各部の名称	
3.4 アクセサリー	
4. 輸送.....	7
5. 設置と試運転.....	8
5.1 圧縮空気供給/空圧機器接続モデル	
6. 運用(通常運用).....	10
6.1 操作、表示	
6.1.1 機械制御	
6.1.2 ツールの配置	
6.1.3 本機の電源を入れる	
6.1.4 本機の電源を切る	
6.1.5 緊急シャットダウン	
7. メンテナンス、清掃、修理.....	11
7.1 消耗品	
7.2 交換部品	
8. トラブルシューティングと不具合修正.....	11
8.1 故障/誤作動-原因-修正	
9. 分解、取り外し及び廃棄.....	11
9.1 リサイクル	
10. エアクッション金型組立台の動作条件.....	12

1. 取扱説明書

1.1 文書の目的と妥当性

この説明にはそこに記載されている製品を適切に使用するために必要な情報が含まれます。それは技術的に資格のある人による使用を意図しています。有資格者とはトレーニング、経験、及び指導により関連する規格、規則、事故防止規制及び操業条件に関する知識と共に工場の安全責任者によって必要な活動を実施する権限が与えられている人となります。そしてその権限者は潜在的な危険性が認識され回避されるような措置を実施する必要があります。

1.2 安全指示マークについて

1.2.1 安全靴を着用下さい。



1.2.2 指または手を挟まないよう注意下さい。



1.2.3 取り外し危険です。



2. 一般的な安全上の注意

2.1 使用目的

エアクッション金型組立台は射出成形金型、ダイカスト金型、パンチングツールの設置及びメンテナンス作業を容易にするために使用されます。それは設置面積と高さの比率により安全性を確保していますが、射出成形金型その他ツールにもまた十分な安定性がある事を前提とします。このマニュアルを通じて安全性、操作、保守に基づき運用して下さい。

2.2 適切な使用法

誤って組み立てられた場合(水平でない位置)高荷重条件下で安定性は保証されません。(5 設置と試運転を参照)。設置面積と高さの比率の結果として十分な安定性が得られない場合は金型片側をブラケットを用いて固定して下さい。プレートのサイズや重量が組立台の許容値を超えないようご注意ください。(3.2 を参照)可動プレートに乗る金型のプレート突き出し量は突き出しし過ぎるとピンなどの先端の破損等が起こる事があります。3.1 の表の範囲内でご使用下さい。エアーのスイッチが入っている間は放置しないようにしてください。

2.3 その他のリスク

ベースフレームから金型が突き出していると落下事故リスクがあります。また指を可動プレートとベースフレームのショルダーに挟まないようご注意ください。

2.4 オペレーターの義務

オペレーターは安全かつ適切な取扱い、メンテナンス、修理、適切な作業について指導する義務を有します。オペレーターは作業手順に従い組立がされた事を実証する必要があります。

2.5 その他の作業者の義務

組立台を操作する人はユーザーマニュアルを読む必要があります。適切な防護服を着用し、安全上の指示を順守する必要があります。

2.6 オペレーターの資格

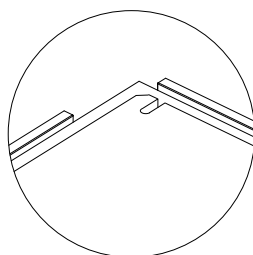
組立台はユーザーマニュアルを読んだ専門の作業者が使用する必要があります。研修中は熟練した作業者の管理下において作業をしてください。

2.7 安全な服装について

作業者は滑り止めやつま先防護のある安全靴を着用下さい。

2.8 安全及び保護装置

可動プレートの落下を防ぐ為、ショルダーを常に台全体に密着するように取付してください。定期的にショルダーの取り付け部がしっかりと適切に取付されているかチェックして下さい。

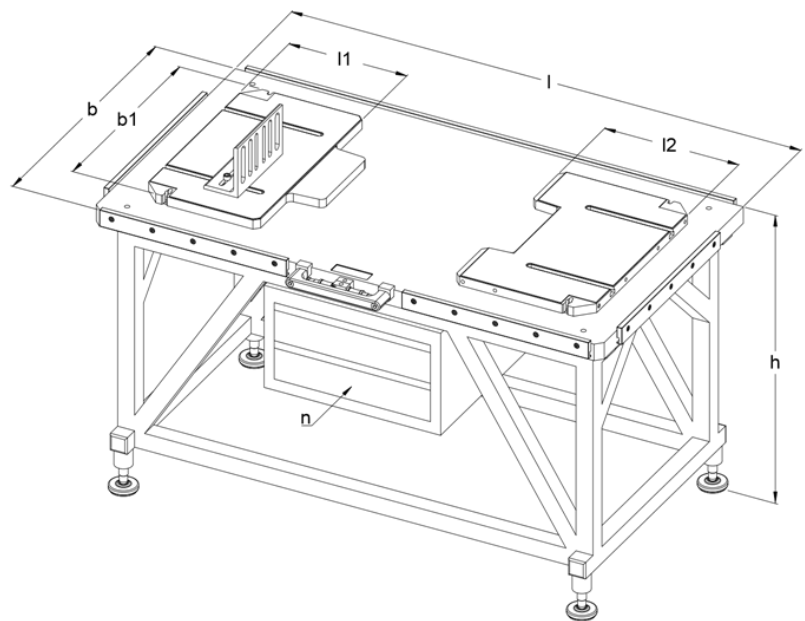


3. 機械の説明

3.1 機械仕様

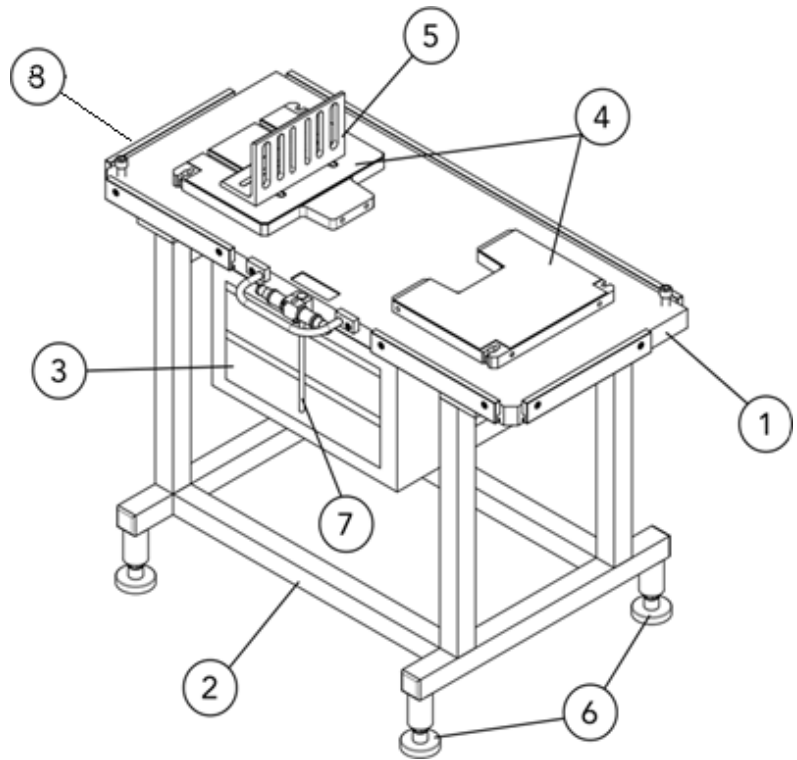
説明	単位	H4062/496/1156	H4062/796/1496	H4062/996/1846
寸法 W x L x H	[mm]	526 x 1186 x 860	826 x 1526 x 880	1026 x 1876 x 700
重量	[kg]	320	700	1,200
最大接続空圧	[bar]	6	6	8
最大許容荷重	[kg]	3,000	3,000	5,000
可動プレートの最大許容荷重 (1プレート当たり)	[kg]	2,000	2,000	2,500
最大積載寸法	[mm]	幅 500 x 高さ 1,000	幅 800 x 高さ 1,000	幅 900 x 高さ 1,300
可動プレートからの 最大突き出し長	[mm]	80	100	50

3.2 各部の寸法



No.	引き出し	最大耐荷重 [kg]	動作空気圧 [bar]	b_1	l_1	l_2	h	b	l
H 4062/496/1156	2	3,000	6	346	266	296	850	496	1156
H 4062/796/1496	2			596	346	396		796	1496
H 4062/996/1846	1	5,000	8	796	466	496	660	996	1846

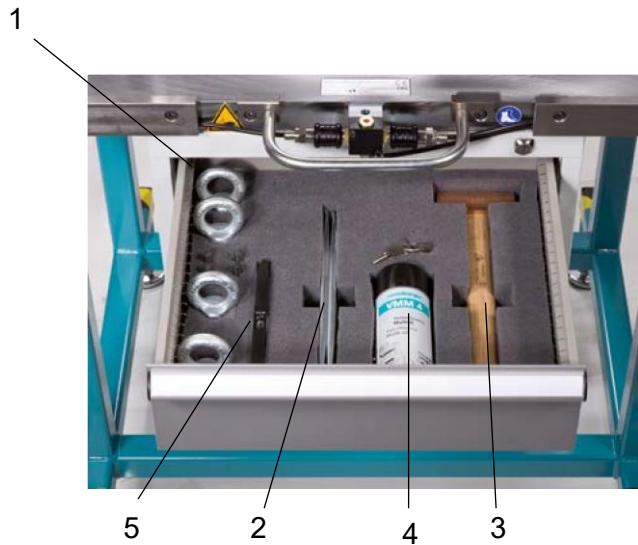
3.3 各部の名称



1. ベースプレート
2. ベースフレーム
3. ツールキャビネット
4. 可動プレート
5. 倒れ防止ブラケット
6. 調整機能付き脚
7. 固定ボルト
8. ショルダー

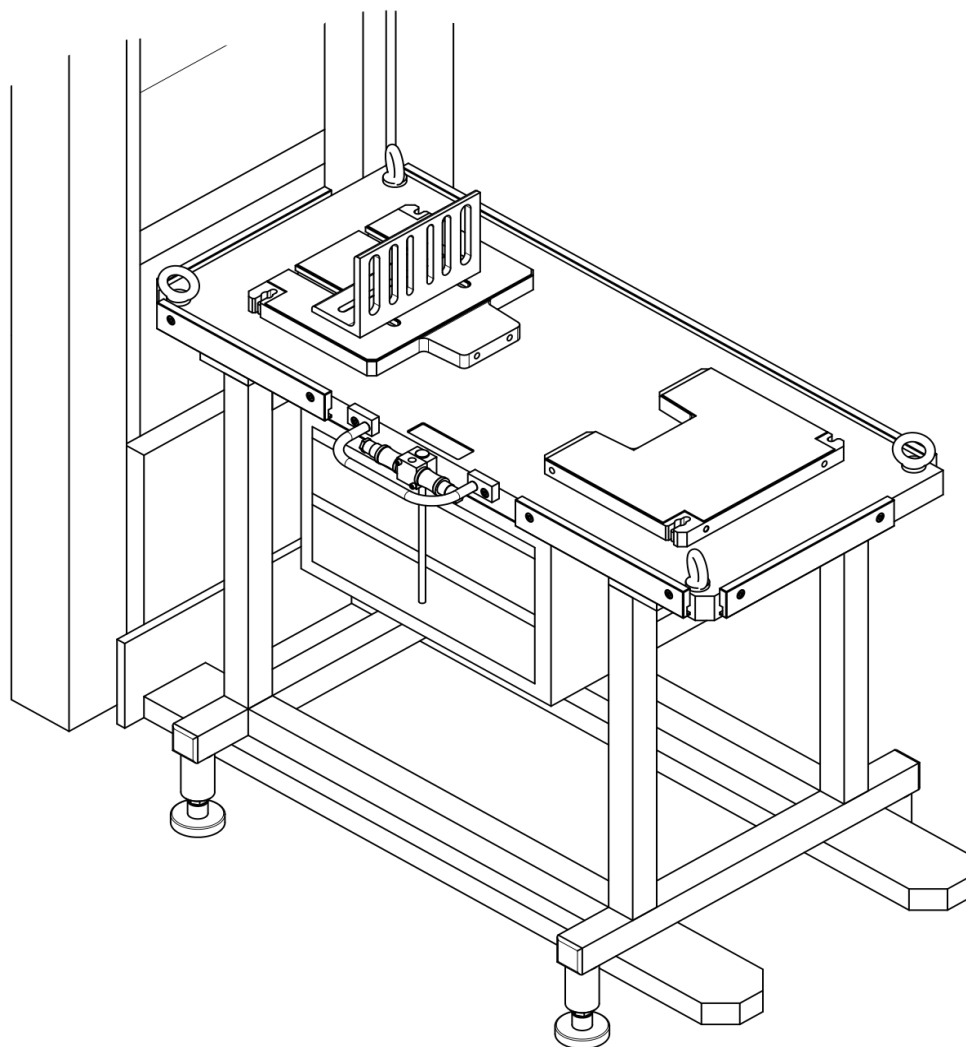
3.4 アクセサリー

1. アイボルト (4 pcs.)
2. 金型開閉用パール (2 pcs.)
3. 銅製マレットハンマー
4. マルチオイル VMM 4/1/400
5. 水平標準器



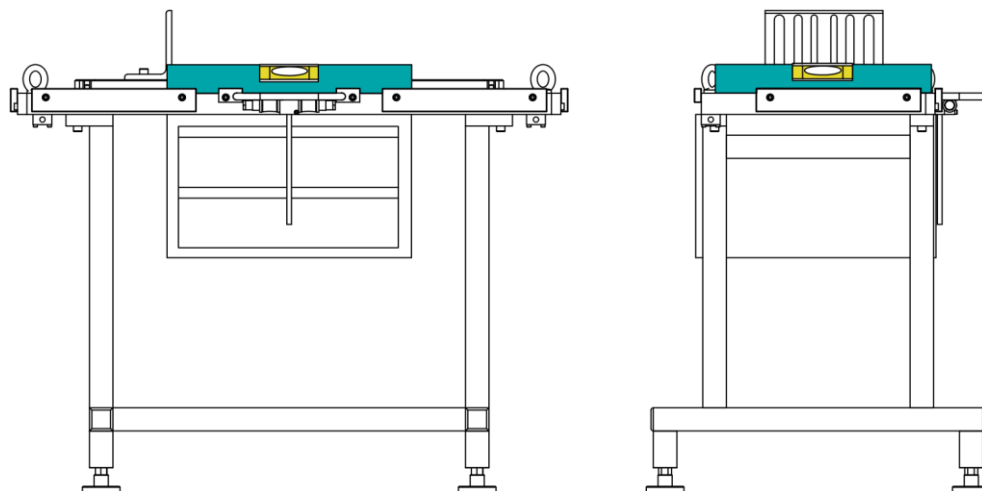
4. 輸送

組立台はフォークリフトやハンドフォークで支障なく移動出来るようにベースフレームが構成されています。下記の図のようにフォークを差してください。またクレーンでの移動も想定しアイボルトも付属しています。クレーンでテーブルを移動する際は可動プレートを取り外して実施して下さい。



5. 設置と試運転

テーブルの安定性を保証するためにテーブルは水平な姿勢でしっかりした面に設置する必要があります。テーブルの脚を調整後、付属の水準器で確認してください。



最大空気圧を超えないようにするには試運転の前に、組立テーブルの圧縮空気コネクタの上流に圧力計付きレギュレータ(納入品には含まれていません)を取り付ける必要があります。圧縮空気の供給を確実に遮断出来るようにするために組立用テーブルの圧縮空気コネクタの上流側にストップコック(納入品には含まれていません)を取り付ける必要性があります。またカップラーは「スーパーカップラー」となっております。もしお使いのコンプレッサーのカップラー及びプラグが「ハイカップラー」の場合はハイカップラー **Rc3/8** オネジ取付用をご用意ください。



スーパーカップラーの形状

お届け時の組立台のエアホースの先はスーパーカップラーRc3/8となります。



ハイカップラーの形状

国内のエアコンプレッサーの規格の多くがこの形状となります。お使いのコンプレッサーがハイカップラーの場合は、本製品のスーパーカップラープラグオネジ用を外し、ハイカップラー **Rc3/8(9.525mm 径)** オネジ取付用を取付けてください。

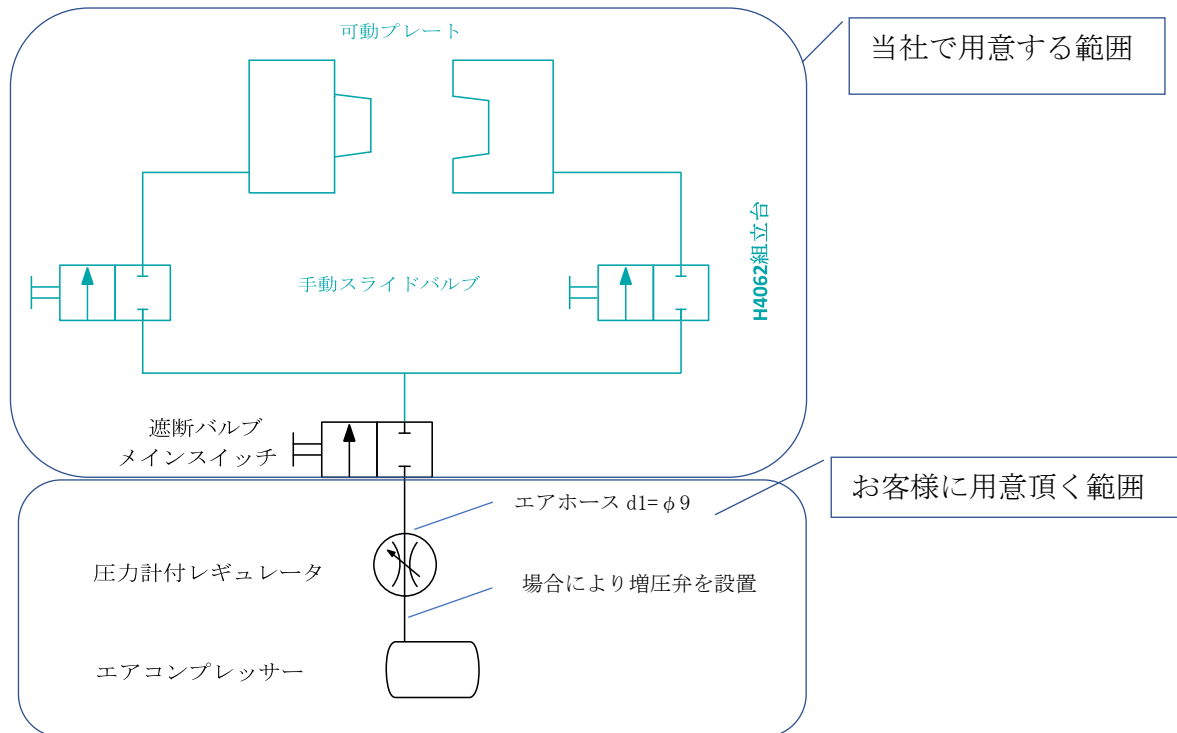
取付カップラーの規格

インチ	mm	分
1	25.4	
1/2	12.7	4分
3/8	9.525	3分
1/4	6.35	2分
1/8	3.175	1分

本製品のホース径

5.1 圧縮空気供給/空圧機器接続図

本製品の動作には空圧機器への接続が必要となります。6bar 以上のエアコンプレッサーをご用意下さい。(推奨気圧 6bar~8bar)

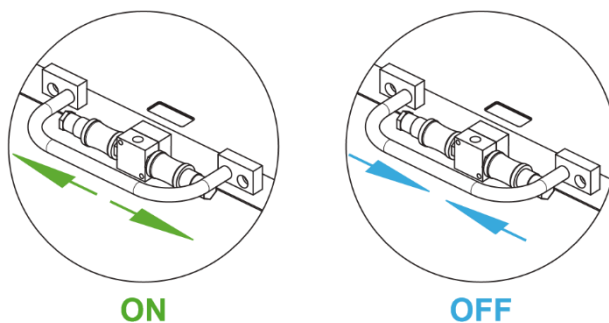


6. 運用(通常運用)

6.1 操作、表示

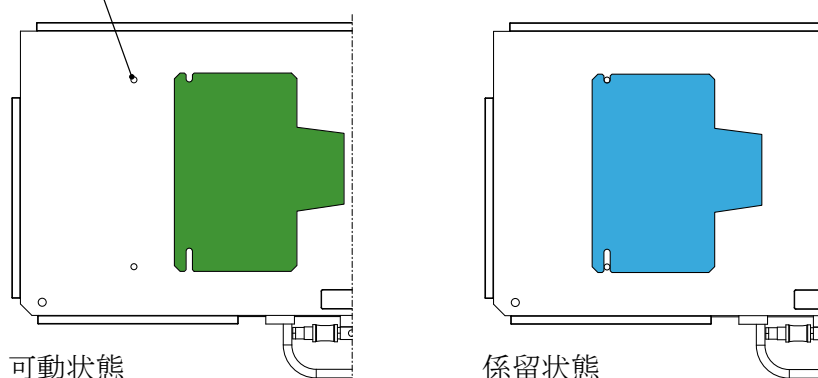
6.1.1 機械制御

手動スライドバルブを使用し、金型のそれぞれの可動プレートは別々にオン/オフに切替が出来るようになっています。可動プレートが望ましくない動きが発生しないように常にどちらかの可動プレートのみオンにして(メンテ・組立などの)作業が終了したらエアーをオフにするようにしてください。



可動プレートにロックピン固定用の溝がありベースプレート上に係留できます。使用しない際にはロックピンを用いベースプレート上で動かないように留めるようにしてください。

E 1300 ダウエルピン(ロックピン)



6.1.2 ツールの配置

金型の片側はベースプレートの出来るだけ中央に配置します。空気が流れると金型はスムーズに開閉します。

6.1.3 本機の電源を入れる

機械のスイッチを入れるにはまず遮断バルブを開きます。手動スライドバルブを使用して各可動プレートを制御できます。

6.1.4 本機のスイッチを切る。

機械のスイッチを切るにはメインスイッチを回して残存エアによりプレートが不用意に動くのを避ける為、先に両側の手動スライドバルブを閉じてからメインスイッチをオフにする必要があります。

6.1.5 緊急シャットダウン

緊急時にはシステム全体への圧縮空気の供給を遮断するために遮断バルブをオフにする必要があります。

7. メンテナンス、清掃、修理

部品の状態、機能は使用前にチェックするようにして下さい。特にエアホースは損傷があるか定期的にチェックする必要があります。またベースプレートや可動プレートなどは定期的に防錆・腐食防止の為、防錆スプレーの塗布をしてください。ショルダー部も定期的に取付箇所を確認して下さい。

7.1 消耗品

Meusburger マルチオイル VMM 4/1/400 -防錆・耐腐食対策

7.2 交換部品

圧縮空気用エアホースは**6年**ごとに新品に交換するようにして下さい。

8. トラブルシューティングと不具合修正

8.1 故障/誤動作-原因-修正

圧縮空気の経路が損傷した場合は空気源から可動プレートまでの経路を系統的に点検する必要があります。

9. 分解、取り外し及び廃棄

9.1 リサイクル

組立台の材質が鉄(S45C)とプラスチックにて構成されているため、一般廃棄物として処理が可能です。

10 エアクッション金型組立台の動作条件表

エアクッション金型組立台

動作空圧機器条件表

製品	必要エア流量	可動プレート使用枚数	モールドベース重量	
			～3t	3t～
H4062/446/1156	必要空気圧(bar)	1枚	6bar	X
	必要エア流量(L/min)		600 L/min	
	必要空気圧(bar)	2枚	6bar	
	必要エア流量(L/min)		1000 L/min	
H4062/796/1496	必要空気圧(bar)	1枚	6bar	
	必要エア流量(L/min)		1000 L/min	
	必要空気圧(bar)	2枚	6bar	
	必要エア流量(L/min)		1600 L/min	
H4062/996/1846	必要空気圧(bar)	1枚	6bar	8bar
	必要エア流量(L/min)		1150 L/min	
	必要空気圧(bar)	2枚	6bar	8bar
	必要エア流量(L/min)		1720 L/min	

meusbürger[®]

Meusbürger Georg GmbH & Co KG | Kesselstr. 42 | 6960 Wolfurt | Austria
Tel: +43 5574 6706-0 | Fax -11 | sales@meusbürger.com | www.meusbürger.com

株式会社ユーロテクノ

〒167-0051 東京都杉並区荻窪 5-20-10

Tel:03-3391-1311 Fax:03-3391-1310
info@eurotechno.co.jp <https://enrotechno.co.jp>